

インフルエンザと新型コロナウイルスとの相違

	インフルエンザ	新型コロナウイルス
症状の有無	ワクチン接種の有無などにより程度の差があるものの、しばしば高熱を呈する	発熱に加えて、味覚障害・嗅覚障害を伴うことがある
潜伏期間	1～2日	1～14日（平均5.6日）
無症状感染	10% 無症状患者では、ウイルス量は少ない	数%～60% 無症状患者でも、ウイルス量は多く、感染力が強い
ウイルス排出期間	5～10日（多くは5～6日）	感染力があるウイルス排出期間は10日以内 ※遺伝子は長期間検出
ウイルス排出のピーク	発病後2、3日後	発病1日前
重症度	多くは軽症～中等症	重症になりうる
致死率	0.1%以下	3～4% ※国内の患者は2%以下(9/23現在)
ワクチン	使用可能だが、季節毎に有効性は異なる	現時点で有効なワクチンなし（開発中）
治療	オセルタミビル、ザナミビル、ペラミビル、ラニナミビル、バロキサビル マルボキシル	軽症例については、確立された治療薬はなく、多くの薬剤が臨床試験中
ARDSの合併症	少ない	しばしば見られる

※1 「今冬のインフルエンザと COVID-19 に備えて」（一般社団法人日本感染症学会提言）を元に作成

※2 ARDS…急性呼吸窮迫症候群（重篤な呼吸不全が現れる病気の1つ）